

回 覧

あなたとあなたの大切な人を守るシリーズ ⑩
高坂丘陵支部防災防犯委員会(令和8年7月発行)

大規模地震 いつ起こる！？ 最悪の事態への備えは、大丈夫ですか？

最近、国内外で地震が多く発生しており、私たちが住む高坂丘陵地区でもいつ起こるのかわかりません。大きな地震から大切な人の命を守るために、生活を見直し、備えましょう。

埼玉県に係る地震は、以下の5つ地震が想定されています。

海溝型地震

- ・東京湾北部地震 M 7.3 震度 5 強
- ・茨城県南部地震 M 7.3 震度 5 強
- ・元禄型関東地震 M 8.2 震度 5 強

活断層型地震

- ・関東平野北西縁断層帯地震 M 8.1 震度 7
- ・立川断層帯地震 M 7.4 震度 6 弱

高坂丘陵地区 多くは震度6弱・関越自動車道を挟んだ付近では震度6強

東松山市に係る地震については 東松山市の「ハザードマップ」令和3年4月(令和7年3月一部改訂)の「地震ハザードマップ」では、想定される「関東平野北西縁断層帯地震」の地震分布が色分けされています。あなたのお住いの予想震度をこの機会にぜひ確認してみましょう。

地震が起きる前…現状(住環境)を把握し備える (一例)

- ・ハザードマップの確認⇒日頃から行動するそれぞれの市町村のハザードマップを確認
- ・家具等の固定⇒地震で激しく動き凶器となることを考え、滞在時間の長い居間や寝室の家具等の固定や配置を見直し

地震が起きた時…揺れがおさまったら落ち着いて行動 (一例)

- ・身を守る行動⇒落下物に備え頭を守る⇒屋内からの避難路の確保⇒復電火災に備えブレーカーを切る⇒必要に応じ避難所へ(近隣の住民への声掛け)
- 幸いにして、高坂丘陵地区では、水害による被害は想定されていませんが、地震等による大規模災害が発生した時は、お互いに助け合いましょう。

震度6弱

(一例)

⇒

- ・立っていることが困難になる。
- ・固定していない重い家具の多くが動いたり転倒する。
- ・開かなくなるドアが多い。
- ・壁や柱が破壊されるものがある。耐震性の高い建物でも壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。

震度6強

(一例)

⇒

- ・立っていることができず、這わないと動くことができない。
- ・多くの建物で、壁のタイルが剥がれたり、また窓ガラスが割れたりして落下する。補強されていないブロック掘のほとんどが崩れる。
- ・耐震性の高い住宅でも壁や柱がかなり破損するものがある。